

社団法人 日本ボディビル連盟
平成22年度 第2回臨時総会議事録(抜粋)

◇ 日 時 平成22年10月2日(土) 15:00～17:50

◇ 場 所 貸会議室 榊ラソンテ(新大阪ブリックビル3階)
大阪市淀川区宮原1-6-1 新大阪ブリックビル3階
電話 06-6397-1817

◇ 会長挨拶 平成22年度のボディビル連盟の総会を開いたところ、全国から皆様ご多忙の中ご参集頂き心より御礼を申し上げます。お陰様で今年の日本選手権は56回目を数えます。56回ということはすでに半世紀以上ボディビル連盟が設立してから歩んできた訳です。出発時期におられた方もいますけれども、50年の間にボディビルは大きく変貌、成長してきております。これも皆様方のボディビルに対する情熱と努力の結果と心より受け止めております。

今後、ボディビル連盟が成さねばならないことは山ほどあります。まず、第一に公益法人の改革という問題が、これは全ての公益法人に共通している問題ですけれども、ボディビル連盟もこの公益法人の改革に直面しております。新たな計画、新たな組織、それらを展望しながら作って行かなければなりません。これからも皆様と一体になって本当に真から一致団結してこのボディビルを我々日本国民になくってはならないものに育て上げてきたいと思う次第です。

明日の大会の成功を皆様に支援して頂くとともに、忌たんのないご意見を賜ってこの総会をすすめて行きたいと思っております。

◇ 議長選出 議長は玉利齊会長を選出。

◇ 定足数の確認 正会員総数58名。本日出席正会員33名、委任状による出席正会員25名、合計出席正会員55名により正会員総数の過半数を上回り、定款第24条に基づき総会は成立。

【第一号議案】平成22年度前期事業報告について

1. 国内事業

(1) 第21回ジャパンオープンボディビル選手権大会

主 管:愛知県ボディビル連盟 実行委員長:井村博一 愛知県連盟理事長
開催日:平成22年7月4日(日) 会 場:愛知県産業労働センター

(2) 第27回ジャパンミックスドペアボディビル選手権大会

主 管:愛知県ボディビル連盟 実行委員長:井村博一 愛知県連盟理事長
開催日:平成22年7月4日(日) 会 場:愛知県産業労働センター

以上、愛知県連盟廣田ゆみ正会員より報告された。

(3) 第14回日本クラス別ボディビル選手権大会

主 管:東京ボディビル連盟 実行委員長:磯村俊夫 東京連盟理事長
開催日:平成22年7月25日(日) 会 場:かつしかシンフォニーヒルズ

以上、東京連盟辻本俊子副理事長より報告された。

(4) 第18回日本女子チャレンジカップボディビル選手権大会

主 管:日本社会人ボディビル連盟 実行委員長:五十嵐清四郎 日本社会人連盟理事長
開催日:平成22年8月1日(日) 会 場:きゅりあん(品川区立総合区民会館)

- (5) 第10回ミス21健康美大会
 主 管:日本社会人ボディビル連盟 実行委員長:五十嵐清四郎 日本社会人連盟理事長
 開催日:平成22年8月1日(日) 会 場:きゅりあん(品川区立総合区民会館)
 以上、日本社会人連盟の五十嵐清四郎理事長より報告された。
- (6) 第2回日本クラシックボディビル選手権大会
 主 管:福岡県ボディビル連盟 実行委員長:政枝勝憲 福岡県連盟会長
 開催日:平成22年8月8日(日) 会 場:北九州市小倉南生涯学習センター
- (7) 第15回オールジャパンミスフィットネス選手権大会
 主 管:福岡県ボディビル連盟 実行委員長:政枝勝憲 福岡県連盟会長
 開催日:平成22年8月8日(日) 会 場:北九州市小倉南生涯学習センター
- (8) 第4回オールジャパンミスボディフィットネス選手権大会(女子世界派遣選手選考会)
 主 管:福岡県ボディビル連盟 実行委員長:政枝勝憲 福岡県連盟会長
 開催日:平成22年8月8日(日) 会 場:北九州市小倉南生涯学習センター
 以上、福岡県連盟の政枝勝憲会長より報告された。
- (9) 第22回日本マスターズボディビル選手権大会
 実 行:JBBFマスターズ委員会 実行委員長:磯村俊夫 マスターズ委員会委員長
 開催日:平成22年9月19日(日) 会 場:江戸川区総合区民ホール
 以上、辻本俊子副実行委員長より報告された。

2. 国際事業

- (1) 第9回日韓親善ボディビル選手権大会
 開催日:平成22年8月1日 開催地:日本 東京(品川区立総合区民会館きゅりあん)
 監督 朝生 照雄 日本ボディビル連盟 選手強化委員会委員長
 コーチ 近藤 賢司 日本ボディビル連盟 選手強化委員 JOC強化スタッフ
 今回は団体戦となり、韓国、日本の審査員相互により優秀選手を選び、最優秀選手を出した方が勝利国とした。韓国選手からは、リースンツル選手が、日本からは井上浩選手が選ばれ、井上浩選手が最優秀選手になり、2010年は日本が勝利した。また今回は非常にレベルの高い選手が送られてきたので、日本の選手の選考には非常に悩みました。日本の選手も非常に健闘しましたので今後に活かしたい。これからの日韓大会では、より実力のある選手を選考すると選手強化委員長より報告された。
 以上、第一号議案は全会一致で承認された。

【第二号議案】 新規加盟クラブ及び退会クラブについて

1. 新規加盟クラブ

- (1) 所属:佐賀県連盟(クラブ) 受 付:平成22年9月6日
 クラブ名:トレーニングステーション(準加盟)
 住所:佐賀市卸本町5-43 電話:0952-32-0386
 代表:宮崎 晴年(指導員資格なし) 設立:平成17年6月1日
 指導員:なし 入会金:8,500円、月会費:10,000円
- (2) 所属:茨城県連盟(クラブ) 受 付:平成22年9月17日
 クラブ名:BODY BUILDING CLUB GORILLA(正加盟)
 住所:石岡市若松1-7-21 電話:0299-56-3078
 代表:竹之内 正(二級指導員) 設立:平成22年7月6日
 指導員:同上 入会金:5,000円、月会費:8,000円
- (3) 所属:日本社会人連盟(クラブ) 受 付:平成21年9月3日
 クラブ名:フィジカルブレインクリエイションボディビルクラブ(正加盟)
 住所:横浜市旭区上川井町2053-1-513 電話:045-922-5758
 代表:本山 輝幸(三級指導員) 設立:平成22年1月1日
 指導員:同上 入会金:0円、月会費:0円

3. 女子公認水着の中間報告について

〔選手強化委員長〕

実物のサンプルを持ってきており、公認ビキニの形は十分検討し、作り方も意見を聞いて上と下がひもでくっついているタイプと上下セパレートタイプの 2 種類を製作した。胸は広くしたり狭くしたり対応できるなどで、価格は 8,000 円～9,000 円位であること。前と違うのは、パットを入れるようになっていることであることが報告された。

〔フィットネス委員〕

同じく実物のサンプルを持ってきており、デザイン、色など報告資料を基に説明された。

以上、公認にする条件、規格をより明確にし、公認と判るデザインJBBFを入れるか、入れるなら大きさをどうするか、今後検討し、次回までに決定することが報告された。

4. ボディフィットネス・ミス21健康美実施要領改訂の件

別添資料①(ホームページに掲載する内容)がフィットネス委員より説明された。

5. 国際審査員資格について

従来 of ABBF アジア審査員資格の有効性について、今後IFBB・AFBF などと会長が確認することが報告された。

6. 理事待遇よりの提案、及び質問について

① 社団法人として定年制が謳われていないとの質問。

会長より、今後の公益法人改革で新しい定款の項目には明記しなければなりません。社会通念で言えば定年70才とすることが適切であると回答された。尚、体力・知力などが充実して健康であり、理事会で推薦された場合は延長できるようになるのが望ましいことが、理事待遇より発言された。

② 役員の改選のうち学識経験理事の選出方法を明記されてはどうかとの質問。

会長より、今まで学識経験理事は会長が候補を理事会に推薦し、理事会が審議して決めるシステムです。もう少し細かくどの分野から何名と言う方式を検討して来年3月に審議し、選出して行きたいと思うと回答された。

③ 県連盟の問題、未納の問題についての質問。

事務局より、21年度の全国地方連盟の状況が説明された。4年間に大会を実施していない県は、山形、福井(今年度は実施している)、滋賀、高知、熊本との報告、加盟クラブ(県別)状況を報告、県連盟の未収金は、1連盟のみであると回答された。

理事待遇より努力しているのは分かるが、今後のことは協議ではなく事務局の重要な仕事であると発言された。

④ ゴールドジムの加盟状況についての質問。

事務局より、ゴールドジムの全国店舗数(全国 40 店)とJBBF加盟クラブ数(全国 12 店)を県別に報告され、大会での出場選手と比率は、21 年度の東京を例に東京オープン(61%)、東京選手権(54%)、東京クラス別(57%)と報告された。

⑤ 選手権大会出場は選手登録規程では本連盟加盟クラブ会員となっている。しかし、東京連盟では 54%以上の選手がゴールドジム 1 店舗から出場しているが、東京連盟は、13 店舗のうち 1 店舗しか登録していない。他の 12 店舗には選手はいないのか矛盾を感じている。他の 12 店舗はJBBFに加盟していなくても選手が出場している。年会費は入らない、東京連盟にも入らない、お金だけの問題でなく、規程、定款はそれらがきちんと守られるべきものでなければならぬとの質問。

会長より、本来、日本ボディビル連盟は開かれた連盟、公益法人でありますので、特定の人達を利益の対象としたものは認可されません。一般国民に対して広く開かれているということが公平公正に行われていなければいけないという前提のもとに、公益法人に認可されています。神奈川は4店舗あり、4店舗全てを受け入れている形ができています。しかし、かたくなに拒否している連盟もあって、1件を窓口として選手を出場させている。これは東京連盟の実態なのです。では東京はそれをやらなければ、さっき東京オープンゴールドジム選手の61%とっていましたが、もっと多く70%を越している時もある。それでゴールドジムは入れないと頑張っている。これはまったく開かれた連盟であるJBBFの下部組織である東京連盟の姿勢としては不自然といえるでしょう。この問題はよく検討して改善改革の方向にもっていかなければならないと思っていますと回答された。

⑥ 役員報酬の実施時期についての質問。

会長より、日本ボディビル連盟の規程に大会運営のためのスポンサーを獲得または紹介した人に対しては手数料を20%支払うという規程が記載されています。これはどの方もスポンサーを持って来て紹介してくれれば同じ比率で同じく還元するということです。これは会長も理事も正会員もみな同じ条件で支給されるようになっていきます。これについては役員報酬ではなく賃金とすることが公益法人認可に適切であるとの判断です。施行時期の問題は、即出来る状況からやっていきたいと回答された。

⑦ 会長が代わったとしたら会長職の報酬として200万円支払いをするのかの質問。

会長より、本来の規程がスポンサーの紹介の謝金であるので、謝金を賃金に代えたことですから、これは即個人の働きに応じた対価と考えている。次の会長の場合には白紙で、皆さま方が検討して決めて下さればよいと回答された。

⑧ 主催大会の審査員の指名について、どのような形で選考されていますかの質問。

審査委員会委員長より、毎年日本連盟主催大会が終わった後で、全審査員の審査結果を記入して年度末に一覧表として出しています。

審査員選考に関しては、主催大会のランク別、そして上位の審査員を日本選手権・日本クラス別選手権にあてる。地域性や主管の負担を考え、近隣の優れた審査員をあてる方向で指名していますと回答された。

⑨ 専門委員会の予算について質問に対し、

事務局より、ドーピング委員会など専門委員の活発な働きのために計上しましたと回答された。尚、理事待遇より今後専門委員会活動には経費が必要なため、各委員長は活動計画書を出して、活動予算を提出してもらうことが提案された。

7. カメラ・ビデオでの撮影禁止について

今回から写真の撮影禁止を出したことで、より多くの審議をして決めるべきだったが、この大会前に情報が入り、時間がなかったものですから緊急の措置として今回に限り禁止という措置をとりました。赤外線カメラで撮影してインターネットで流すという悪質なことが現実にあったのです。これから恒久的にするかは皆さんに観察して頂いてその結果3月総会で継続審議とするが、悪質なものをどうやって抑制するのかを検討していくと会長より報告された。

8. 日本選手権・ジュニア・高校選手権大会の実施について

大会実行委員長より、運営マニュアルをもとに理事、正会員の役割分担が説明され、お手伝いを要請された。

9. 競技運営委員長より、日本選手権・ジュニア・高校選手権大会の進行が説明された。

次に、各大会でカテゴリー数を9カテゴリー/1日と目安にしてもらいたい。また、健康美の大会出場資格を制限してはどうかとの意見が出された。

以上で総会を閉会した。